

# 特集 大山町の案内は 特 俺たちに任せろ

大山開山1300年を迎え、大山町を知り尽くし、訪れた人に大山町の魅力を伝えるガイドにスポットを当てました。

自然・歴史・文化をどのような思いで届けているのか、今回はボランティアガイドさんと登山ガイドさんに、話を聞きました。

所属する組織を教えてください。

大山ガイドクラブ

吉野 功さん



登山ガイドをしています。夏山登山道が多いですが、ユートピアコースも案内します。会員は20人で島根県

や岡山県の人もいます。

料金は一人19000円頂いています。

心がけていることは、コミュニケーションを取って山の良さを感じてもらうことです。

大山町ガイドボランティアの会

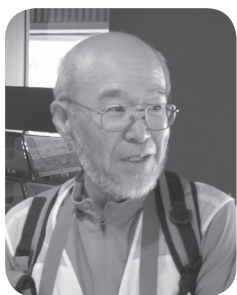
阿部 誠さん

3町が合併した時、町が観光のボランティアガイドを養成したの

が始まりで、会を立ち上げて12年目になります。会員数は18人で女性会員は約半数です。

ガイド1名に1000円頂き、2〜3時間コースで1グループ約10名を受け持ちます。

お客さまの多くが京阪神、東海、四国で、年間10000人を超え、歴史・自然・文化など総合的案内をしています。大山町全体を案内していますが、会の発足から延べ案内人数は15000人を超えました。



現在の状況はどうですか。

阿部さん

大山寺を中心とした歴史・自然・文化などの総合ガイドに併せ、毎年、新日本海新聞社主催の大山歴史探訪ウォーク(約500人)に対して約6ヶ所定点ガイドを行っています。

今年の開山1300年祭の年です。少し増えてきていますが大幅増の感じはしません。私達は春は併せて秋の紹介、秋には春の紹介などリピーターを増やそうと頑張っています。

吉野さん

登山ブームは終わった感じがします。東日本からの人も多いので、急に少なくなる事ではありません。前は登山される人は中高年の人が多かったのですが、今は若い人たちが



ガイドは旅行者にとって縁の下力持ち

増えてきました。また、各地の山を登られる人が多いので、マナーは良くなっています。外国の人に対してのガイドは少ないです。これからは何が必要になりますか。

大山町ガイドボランティアの会

山根 栄さん



親から子へと語り継ぐ『我が家の大山の

語り部』これを町内に広めて、大山について話ができるようになってほしい。イベントで町内外から多くのお客様さんに来てもらっていますが、そのときに案内ができる人を育てたい。

阿部さん

大山寺旧境内が国指定史跡になり、阿弥陀堂(登山道隣り)の西側僧坊跡の古道が復元されましたので、自然・歴史探索の新コースとして案内をしたい。大山町全体の観光案内所が大山寺にありますが、町内各地の名所・